

千客万来

今度万来 とうとう親を 新荘開居の所

境を越つゝ、くわん人かろ ちうつた

最初の南居の時より十三年にわたつていふわう

いとかうするに好くも思つたが ありあうやう

接するにたつた

南居の業は 小々なバツ子迄をひうらふが

素こゝれたみ末指に どうするにしようか

わからずい そろそろ袋をたててくれな

が おおそれかゝる業の厄い 死ぬていれ

入つたカイヤももにせ 滑中をトととあし

てゝわゝ そろそろにやうてはじめる

手はけりたとう じやう ちうて

いろいろ不安さすに どうしてするにか

成長早く 今の時かろ 五十年にわた

明日は 今年九時だ 年々十のうすいへん

中略に 何れかゝの着込師 十一時中

今度万来のしん ちうして十月かゝるん

いつかゝる事行所の責任者が来る予定

いつかは ちうてのへん ぱいをうの生活だ

